

【事業の目的】

- ・キャンプ体験などを通じて、親子で一緒に楽しみながら防災について学び、子どもの世代も親の世代も忌避感なく防災に関する知識を深める機会を提供する。
- ・子連れの家族を中町に呼び込み、町内を実際にまわって商品を購入・活用することで、中町の魅力を発見し、イベント当日以降の商店街の利用促進に繋げる。

【事業の内容】

- ・令和5年9月23日(日)、年長以上の児童を含む親子15組が参加し、中町モールをメイン会場に、各チームに分かれて下記の活動を行った。

健康プラザ前:テント組み立て、寝袋等体験

日和山エリア:非常持ち出し物品の確認と日和山への登頂体験

中町エリア :各ポイントでの防災クイズと商店街での食材調達

屋外での調理:アルミホイルとカセットコンロでのホットサンド調理

【事業の成果】

- ・参加者の方々からは、「災害時の勉強も小さいうちから楽しみながらできたので非常に有意義でした。」「子ども達もとても楽しめていた。」等の声をいただき、良好な結果であったと思います。



防災リュックには何を入れたらいいのかな



家族みんなでテントを建てると！

【事業の目的】

- ・英語学習の補完、子育て支援、世代間交流などに留意した、松陵学区児童生徒の健全育成。

【事業の内容】

松陵学区コミュニティー防災センターにて、年間を通し下記の活動を展開。

- ・松ぼっくりクラブ:放課後の児童の居場所。児童の自主活動が基本。
- ・寺子屋教室:小学校長期休業中に、学校課題の支援と合わせて運動、英語、書道、工作などの活動を組み合わせて開催。
- ・学校振替休業日:9時から15時まで施設を開放し、自習や遊びを行う。
- ・松げつ教室:毎週月曜の放課後に、英語教室や算数教室を開催。

【事業の成果】

- ・保護者や児童の方々から喜ばれています。地域の方々、ボランティアの高校生や、近隣の中学生との交流を深めることが出来ました。また、地域の高齢者施設の方々と一緒に活動を楽しむなど、世代間交流もできました。松陵学区「学びと遊びの楽校」では、継続して児童の健全育成に努めていきます。



松ぼっくりクラブにて世代間交流



冬の寺子屋教室にて書道教室

事業名 | 「企業内 RD 環境ミーティング」～酒田市を、RD でも安心して働ける
企業環境のある街に～（補助額 200,000 円）

【事業の目的】

- ・これまでの RDD (Rare Disease Day 希少・難治性疾患の日) 活動を通して疑問に思った「酒田の企業内 RD 環境の現状」を、企業の方々と話し合うことで理解する。
- ・「RDの方が働きやすい職場なら、誰もが働きやすい職場なのではないか?」「そしてそのことが「住みやすい街酒田」につながるのではないか?」を、市民と一緒に考え、RD の認知を広める。

【事業の内容】 下記の内容で、8月～2月にかけて3回の催しを行った。

- ・RD 当事者・家族・支援者へのアンケートより事例紹介
- ・RD 当事者による講演、RDD JAPAN 事務局員による報告
- ・看護師による他地域での「RD と地域連携」の講演
- ・企業関係者や市民とのディスカッション
- ・RD 支援機器の体験

【事業の成果】

- ・企業関係者や市民の方々から、高校生が地域の雇用環境や医療・福祉の状況について関心を持っていることを積極的に発信するべきとのご意見をいただきました。ディスカッションでは企業からの前向きな姿勢も示され、今後の活動の励みとなりました。



活発なディスカッションが行われました



市民の方による RD 支援機器の体験も



▲山形県立
酒田西高校 HP 内
RDDin 酒田西高校
実行委員会ページ